

みんなが安心して医療・介護を受けられるように今年も一緒に力を合わせてがんばりましょう。

医療と健康のひろば

発行：東京民主医療機関連合会
北中ブロック城北地域診療圏協議会
編集：医療と健康のひろば編集委員会
〒174 8502 東京都板橋区小豆沢1 6 8
健康文化会内
電話03 5994 0271
ファックス同上(自動切替)
2006年1月 第80号

2006年1月 商店街の真ん中に新しく生まれ変わった 下赤塚診療所が診療を開始!

職員一同新たな決意で



裏口は救急車が入れます



今までシバタツビル四階にあった下赤塚診療所が、目の前赤塚一番通りの商店街の真ん中に移転しました。新しいビルの一階で道路に面し、救急車も裏口に横付けできるようになりました。建物は、明るさとぬくもりを感じられるよう、全体に木を基調としています。地域の皆様のご意見も反映するよう努力しました。

下赤塚診療所は一九八七年に開設し、十九年になります。四階までエレベーターを使わなければならないなど構造上の問題もありました。患者さんや友の会会員さんからたくさん要望が寄せられていました。ようやく念願であった移転を実現できました。

職員一同、決意を新たに医療と介護の活動を進めます。患者のみなさん、地域のみなさん、今後この地域に無くてはならない下赤塚診療所として医療と介護の活動が前進できるよう、ご支援をよろしくお願いします。



「おちつくね」見学する健康友の会の役員さん

下赤塚診療所

〒175-0092
板橋区赤塚2-9-4MAISON Y・K 1階
電話:03(3979)6361
ファックス:03(3979)6360



今年、ユニオン企業は調剤薬局の会社として設立以来二十一年目の節目を迎えます。

みどり薬局はじめ、板橋、練馬の五薬局で地域のみなさまに信頼される薬局でありたいと日々努

頼りになる薬局として

ユニオン企画(株)社長 西 姫子

たのは、患者さま利用者さまの、お話を親身に伺うこと、生活習慣や服薬状況を伺うことか

本年もよりよくお願い申し上げます。



明けておめでとうございます。以前から政府、厚生労働省の押し進めてきた医療費抑制政策は小泉内閣により、より一層、ひどいものになってい

憲法と社会保障を充実させるために

健康文化会理事長 石川 徹

れば病気にもなれな... 今、求められていることではないでしょうか。私たちの法人の医療費は国内総生産(GDP)比でみ

また、経済的理由で服薬を中断し病気が悪化することがないようご相談にも応じてまいりました。

めてまいりました。お待たせしない、正確な調剤はもちろ

今年も弱者に厳しい世の中が続きますが、一層みなさまに愛され、頼りになる薬局となるよう、職員一同思いを新たにしております。

ら、その方に合った服用法、副作用や飲み合わせ、勘違いなど見つけることができます。在宅で療

また、経済的理由で服薬を中断し病気が悪化することがないようご相談にも応じてまいりました。

新しくなった小豆沢病院の透析室とリハビリ室

透析室が拡大しました

小豆沢病院
診療部長・透析室医長

中村 直也



昨年十一月、病院透析室が新装オープンしました。皆さんの協力に感謝いたします。今回の改修に伴い透析

ベッド数を二十五床に増床、引き続き七十人を超える患者さんの透析を、昼夜問わず行う予定です。

私が透析室担当医になった一九九七年は、ベッド数は十床、透析患者数四十人弱でした。



明るい談話室やナースステーション

全国の人
工透析患者数は年々増加し、平成十五年末で二十四万人近くが透析治療を受けています（日本透析医学会雑誌より）。近年は糖尿病や高齢で透

4階が総合的なリハビリテーションフロアに



広々した一つの部屋でリハビリ

患者さんには、以前よりリハビリをスムーズに受けていただけるようになりました。また、リハビリ専門の職員がより連携をとりながら、医療を進めていけるようになりました。

今まで六階にあった作業療法室が四階に移り、さらに『言語聴覚療法室』が新しく設置されました。

| | |
|----------|-------------|
| 1994年 | 10床に増床 (5階) |
| 1998年 | 17床に増床 (5階) |
| 2000年 | 6階へ移動 |
| 2005年11月 | 25床に増床 |

併症を起こした場合や、緊急入院が必要な時に当院ベッドが一杯の時は、なるべく近隣の病院を紹介しています。皆さんが望む限り

り、最後まで心を尽くし診療したい。これが透析室スタッフ一同の今までの、そしてこれからの願いです。

人工透析は、高度な医療技術でありながら

小豆沢病院透析友の会へ期待

松崎弘さん(62歳)に聞く



透析をやるようになって十年ほどに経ちます。それまでは、小豆沢病院や他の病院にも掛かっていました。具合が悪くなり小豆沢病院に通い、早めに透析を受けた方がいいと医師に薦められ、透析を受けるようになり、週三日受けています。

政府は、医療や介護の改悪を進めているけれどこれは困るよね。働き盛りの人の負担は仕方ないとしても年金暮らし、一人暮らしの人で経済的に大変な人の負担を増やすのは止めるべきだと思います。

足腰が衰えないように週に二、三回ジムで筋トレやジョギングを行っています。また、散歩で二、三時間歩くことも結構あります。しゃきとしていたいからね。透析患者会は三十年位の歴史があり、四代目の会長を引き受けて三年になり、会員は六十数名です。日帰り旅行や学習会など取り組んでいます。先日小豆沢病院の事務長を講師に医療改悪で特に透析患者にどんな影響



働きやすい職場をつくらうと参加者真剣に聴く

板橋センターは、医師や弁護士、ケースワーカーなど専門家と連携し、職場の労働環境問題や相談活動を進め、人間らしく生き働き続けられる社会と健康なまちづくりをめざします。東京社会医学研究センターの佐々木昭三さん(健康文化会 組織部 西川 勉)

働く者のいのちと健康を守る

板橋センター結成

去る十一月十七日、板橋グリーンホールで「働く者のいのちと健康を守る板橋センター」の結成総会が開催され、区内の労働組合、地域センターです。板橋センターは、都内二十三区で最初に結成される。板橋センターの理事長に小豆沢病院の井上修一院長が就任し、病院の存在意義として『働く人々の健康を守る役割を重点課題』として位置づけ、若手医師の育成を始めています。できることから取り組んでいきたい」と抱負をのべました。今後の板橋センターの活動が期待されます。

次々と押し寄せる改悪に反対する大集会です。多く参加で成功させましょう。健康文化会とユニオン企画も大きく取り組みます。バスを予定していますが、詳細は決まりしだいお知らせします。

許すな医療改悪・増税！2・9国民集会

日時 2006年2月9日(木) 午後2時から(文化行事午後1時20分～)

会場 さいたまスーパーアリーナ 最寄り駅→大宮駅、与野駅、新都心駅



主催 医団連・中央社保協・全労連